

小城市立歴史資料館 中林梧竹記念館だより



展示会

没後400年 「閑室元佶展～鍋島藩を救った高僧～」

◆期間：7月7日（土）～9月2日（日）

◆場所：歴史資料館 展示室

◆入場料：無料

=主な展示資料=

「絹本着色閑室元佶画像」

（佐賀県重要文化財）

「三岳寺文書」

（小城市重要文化財）

徳川秀忠書状・黒田長政書状・

鍋島直茂書状・龍造寺高房書状など

「伏見版七書」

（小城市重要文化財）

=関連行事=

記念講演会／史跡探訪会

下記の小城ふるさと学講座を参照してください。



◀絹本着色閑室元佶画像

=閑室元佶について=

閑室元佶は、戦国時代小城郡晴気に生まれ、足利学校9代目の庵主となり、徳川家康に仕えた人物です。関ヶ原の戦いでは、家康のそばにいて、戦の吉凶を占っています。江戸幕府が開かれた後は、諸宗寺院の管理、幕府の対外交渉をする立場にありました。また、徳川家康から木活字10万個を与えられ、出版事業もおこなっています。関ヶ原の戦いで、鍋島勝茂が西軍方について行動したにも関わらず、鍋島家が存続できたのは、元佶の取り成しによるところが大きかったと言われています。慶長17年（1612）元佶が没するまで、鍋島家は元佶に様々な相談をしています。

=三岳寺の開山=

鍋島直茂・勝茂ら父子は、関ヶ原の戦い後の取り成しの返礼として小城に三岳寺（小城町門前地区）を建立し、元佶を開山としました。

2012年は元佶の没後400年にあたります。この機会に三岳寺に伝わるゆかりの品や古文書、その他資料により元佶の足跡をたどります。

受講生募集

平成24年度 小城ふるさと学講座受講生募集

様々なテーマで小城に関することを学びます。地域の歴史を一緒に考えましょう。年間数回程度開催します。

申し込まれた方には講座の案内をお送りします。

◆参加費：各回100円（資料代など）

第2回～5回は小城市立歴史資料館研修室（桜城館2階）で開催

※日時・内容は変更する場合があります

第1回「小城屋根のない博物館みてあるきⅥ～閑室元佶ゆかりの地を訪ねる～」

◆日時：7月7日（土）9時30分～12時

◆案内：文化課職員

◆場所：桜城館集合（定員35人・要予約）

第2回「閑室元佶の活躍と小城」

◆日時：7月21日（土）14時～15時30分

◆講師：井上敏幸 氏（佐賀大学地域学歴史文化研究センター特任教授）

第3回「三岳寺の仏教美術」

◆日時：8月18日（土）14時～15時30分

◆講師：竹下正博 氏（佐賀県立博物館）

第4回「閑室元佶の肖像画－いつ・どこで・だれが描いたかを探る－」

◆日時：8月25日（土）14時～15時30分

◆講師：福井尚寿 氏（佐賀城本丸歴史館）

※第1回～4回は「没後400年閑室元佶展」の関連行事として開催します

第5回「小城郡北郷大庄屋犬山家文書についてⅢ」

◆日時：9月29日（土）14時～15時30分

◆講師：犬山家文書執筆委員（岩松要輔氏、福田春次氏、片倉日龍雄氏）

❖開館時間 9時～17時 ❖休館日 毎週月曜日・祝日

【問合せ・申込み】小城市立歴史資料館 文化課（桜城館2階） 担当 熊手・田久保 ☎71・1132